

外部委員の評価結果

施策目標	(4) 雇用の促進	総括担当課	にぎわい創出課
方針	・企業等の育成や新たな製品加工、商品づくりを目指す起業・創業者等を支援するとともに、既存事業者の雇用に配慮した雇用対策に努めることにより、誰もがいきいきと働くことのできるまちを目指します。 ・若者が安心して働ける就業先を確保することにより、U I ターン者の受け入れ先の確保と若者の定着率の向上を図ります。		

■ 評価結果

以下の①～③の項目について評価を実施しました。（当日出席委員：14名）

評価項目	評価結果		評価の理由等
①施策を構成する事業内容の妥当性	a評価	9名	・全ての事業が、雇用創出や雇用環境の向上に資するもので、その妥当性を評価できる。 ・既存事業の雇用を促進しつつ、新たな企業を誘致することへの投資を行うものであり評価できる。 ・直接の成果が見えにくい印象の事業が多いですが、いずれも方針に合った妥当な事業だと考える。 ・生活基盤である雇用を支援する事業であり、内容も妥当と考える。 ・若者が安定して働ける就業先の確保は町発展のために最優先されるべき施策だと思う。
	b評価	5名	・施策の内容によっては、町民や企業から継続要望もある。また、県や民間が実施している事業と重なっている事業もあり、改善が必要な事業もある。 ・企業誘致により、効果的な雇用の促進に繋がっている。 ・「無料職業紹介所 会社説明会の開催」については、特に若者に対してはネットの利用率が高いことから、ヒットしやすく仕事内容がわかりやすい工夫（動画など）も必要と思う。なお、短期の仕事を希望する者もいることから、求職者のニーズに幅広く対応できる窓口は重要だと考える。特に労働力不足への対応は大きな課題である。
	c評価	0名	—

②施策を構成する事業 全体の実績及び成果	a評価	8名	・企業誘致や雇用環境についての取組は成果がみられている。そうした中での課題が明らかになった事項については、更なる取組が必要である。 ・全ての事業において、K P I 達成率が80%を上回っており、順調に事業が進んでいると考える。 ・企業誘致により、効果的な雇用の促進に繋がっている。 ・町内進出企業において、実際に町民雇用が生まれているため。 ・障害者の安定的な雇用先の確保につながっている事業に取り組まれているため。 ・企業誘致のために努力されている成果が少しずつ出始めている。
	b評価	6名	・K P I 達成度と住民の感じる成果に少しずれがあるように感じます。仕方がない部分もあるとは思いますが。 ・高校2年生に向けた地元企業の説明会をしたようですが、やはり地元で働きたいと思うようになるためには、もう少し早い段階でのアピールが必要ではないでしょうか。
	c評価	0名	—
③施策目標の指標の達成度	a評価	8名	・企業誘致により、町内在住者の雇用が増えた。障がいのある方の雇用先を確保できたことは成果である。 ・施策目標を達成しており評価できる。 ・女性の起業家も増えつつある。SDGsフェスでも3名が発表していたことから、四万十町での起業は魅力的だと感じた。 ・新規雇用者数が目標を大きく上回っている。
	b評価	6名	・新しい企業が誘致できる事は評価できると思いますが、労働者の確保は難しいと思います。ワークライフバランスの考え方を一般企業に浸透させていけるのか。
	c評価	0名	—

※a評価・・・評価できる b評価・・・おおむね評価できる c評価・・・評価できない

総合評価	A 評価	5名
	B 評価	4名
	C 評価	5名
	D 評価	0名
	E 評価	0名

(総合評価について)

上記の3項目の評価内容に応じて、以下のとおり機械的に総合評価を判定しました。

A 評価・・・全てa B 評価・・・aab、aac C 評価・・・全てb、bba、abc D 評価・・・bbc、cca

E 評価・・・全てc

その他自由意見

- ・若者が将来に展望を持ち、安心して働ける就職先を確保することは非常に大切であり、ＵＩターン者の受入を確保するとともに、障がいのある方の働く環境の確保を整備する取組を充実してほしい。
- ・ＵＩターン者で農業を職とする人は、家・農機具・土地が必要であり、一体となった支援が必要。
- ・外部との協力体制について検討されてはどうかと思う。
- ・四万十町の仁井田米や生姜を使用して、加工・製品化するようにして会社をつくれば雇用が拡大すると思う。
- ・勤労者福祉対策の今後に期待しています。
- ・興津大敷組合（サラリーマン漁師）に注目しています。